別紙様式１

令和８年度明徳中学校区研究推進計画

校番（20）（明徳中学校）
校長名　　裏山　富美子

１　学校教育目標
「自ら学び　ともに伸びる」

２　目指す児童生徒像
「自他を尊重し，自ら考え判断し，意欲的に自己を表現する子ども」

３　育成を目指す資質・能力（具体の姿）

<table>
<tr><td rowspan="2">設定した資質・能力</td><td>知識及び技能</td><td>思考力，判断力，表現力等</td><td>学びに向かう力，人間性等</td></tr>
<tr><td>学習の素地としての基礎的･基本的な学習内容を習得し,他の学習や生活の場面で活用する力</td><td>各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら,知識を相互に関連付け,より深く理解する力</td><td>他者との関わりを通して,自らの学びを調整しながら,粘り強く学びに向かおうとする力</td></tr>
<tr><td>後期</td><td rowspan="3">必要な知識・技能を習得しており,他の学習や生活の場面でも活用している。</td><td>複数の情報を多様な方法で関連付け，論理的に，自分の考えを表現している。</td><td rowspan="3">自らの学びを目標と照らして振り返り，次の学びにつなげようとしている。</td></tr>
<tr><td>中期</td><td>複数の情報を結び付け,理由や根拠を明らかにして,筋道立てて，自分の考えを表現している。</td></tr>
<tr><td>前期</td><td>理由や根拠を明らかにして，筋道立てて，自分の考えを表現している。</td></tr>
</table>

４　研究主題等
(1) 研究主題　　自他を尊重し，自ら考え判断し，意欲的に自己を表現する子どもの育成
～子ども自らが「見通す」「やってみる」「振り返る」学びや活動を通して～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）
子どもたちを取り巻く社会は，少子高齢化，グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等，急速な変化により，予測が困難な時代となっている。このような時代を生き抜くためには，子どもたちが自ら考え，自分たちの答えを導き出していく力を付けていくことが不可欠であり，自己実現を図っていくための基礎を義務教育段階で身に付けることが大切である。

本中学校区の児童生徒は，前向きに学習に取り組むことができるが，小集団であるため多様な考えに触れる機会が限られ，児童生徒の学びを広げることが十分でない。そのため，さらに学びを広げ深めるためには，児童生徒が自ら学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど，自らの学習を調整しながら進めることが必要であると考えた。

令和６年度より，本中学校区では，「自他を尊重し，自ら考え判断し，意欲的に自己を表現する子ども」を「主体的に学ぶ子ども」と捉え，こういった子どもの育成を図ることを研究主題とした。そして，「自他を尊重する児童生徒の育成」を研究テーマとする「つながり部会」と，「主体的に学ぶ児童生徒の育成」を研究テーマとする「授業改善部会」を設け，目的と方

法を共有しながら取組を進めてきた。「つながり部会」では，地域と協働して保小中合同避難訓練をしたり，異年齢の子どもや地域と関われるような場を設定したりする中で，子どもたちは自他を尊重した関わりができてきている。また，「授業改善部会」では，子どもが進める「めいとく・トライ」の取組を構築し，単元づくりを行ってきた。昨年度は，特に「振り返り」に重点を置き，実践を重ねた。その結果，自らの学びを振り返り，次の学びにつなげようとする意欲的に学習する姿が増えてきた。

今年度は，子ども自らが「見通す」「やってみる」「振り返る」学びや活動の中で，さらに他者との関わりを意識し，他者との関わりの中でより協働的で深い学びになるようにファシリテートすることで，研究主題である「自他を尊重し，自ら考え判断し，意欲的に自己を表現する子どもの育成」を図っていきたい。

そのために，「つながり部会」では，自律を目指した取組を組織的に進めるとともに，昨年度から導入されたコミュニティ・スクールを生かして地域との関わりをさらに深めていくことで，子どもの地域の構成員としての意識や自他を尊重する力を高めていきたい。また，「授業改善部会」では，「めいとく・トライ」をさらに深化させ，自己調整しながら学習する場において，自分の考えを論理的に表現できるように，教師がファシリテートし，思考力・判断力・表現力を高めていきたい。

(3) 研究仮説

「見通す」「やってみる」「振り返る」取組の中で，子どもと目標を共有しながら，子どもが自ら自己決定し，協働しながら進める主体的な学びや活動をファシリテートすれば，自他を尊重し，自ら考え判断し，意欲的に自己を表現する子どもを育成することができるであろう。

5　研究内容

(部会テーマ)　自他を尊重する児童生徒の育成

	研究内容
つながり部会	（1）地域の構成員としての意識の育成 ・　児童生徒が主体となり，企画・運営する行事や学習活動の推進 ・　異年齢の子どもや地域社会など，世代を越えた交流の場の設定 （2）地域の防災リスクを踏まえた実践的な防災教育の取組 （3）生活習慣を再認識させるための取組 （生活リズム週間，小：歯磨き　中：メディアコントロール） （4）共感的な人間関係の育成（小：異学年交流　中：SEL）

(部会テーマ)　主体的に学ぶ児童生徒の育成

	研究内容
授業改善部会	（1）「めいとく・トライ」の深化 ・　子どもが追究したい「問い」の設定 ・　子どもが繰り返し自己調整しながら進める学習 ・　振り返りの充実 ・　協働的な学習の場の充実 ・　ＩＣＴの効果的な活用 （2）特別支援や児童生徒理解の視点を取り入れた一人一人に寄り添う教育活動の推進 ・　個に応じた学習フリータイム・家庭学習

6　検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
①　「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	学校生活アンケート	・友達と話し合うことで，自分の考えを深めたり，新しい考えに気付いたりすることができている。	肯定的な回答 小　100% 中　96.9%	肯定的な回答 小　90%以上 中　90%以上
	学校生活アンケート	・学習した内容について，分かった点やよく分からなかった点を見直し，次の学習につなげることができている。	肯定的な回答 小　98.0% 中　96.9%	肯定的な回答 小　94%以上 中　90%以上
	標準学力調査等	・平均通過率 全国平均との差	小　+2 （国・算の平均） 中　+1.3 （国・数の平均）	小　+5 中　+3
②　地域の構成員としての参画意識及び自己有用感の育成	全国学力・学習状況調査 学校生活アンケート	・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている。	肯定的な回答 小　95.1% 中　100%	肯定的な回答 小　95%以上 中　85%以上
		・自分にはよいところがあると思っている。	肯定的な回答 小　97.6% 中　84.4%	肯定的な回答 小　90%以上 中　90%以上
③　防災教育の充実	学校生活アンケート （児童生徒・保護者）	・地域に起こりやすい災害や避難の仕方について理解している。	肯定的な回答 小　100% 中　100%	肯定的な回答 小　100% 中　100%
		・学校からの防災教育等の情報発信は十分である。	肯定的な回答 小　100% 中　90.3%	肯定的な回答 小　98%以上 中　95%以上

7　推進体制等

(1) 推進組織

【校長会】…　小中学校校長
基本方針等を協議

【運営委員会】…　校長，教頭，教務主任，研究主任，小中一貫教育推進コーディネーター
【推進委員会】…　教務主任，研究主任，小中一貫教育推進コーディネーター

【全体研修会】・・・全教職員
【研究部会】２部会・・・全教職員が所属

つながり部会　　授業改善部会

(2) 一部教科担任制実施計画

ア　乗り入れ授業等（中→小，小→中）

（中→小）

・　小学校全学年　　音楽科（２学期）全校合唱指導
・　小学校第５・６学年　体育科（２学期）陸上指導

・　小学校第５・６学年　体育科・総合的な学習の時間（２・３学期）
　　ダンス「音戸の舟唄」の指導（特別非常勤講師とのＴ．Ｔ）
（小→中）
・　長期休業中の学力補充

イ　小学校教科担任制等
　なし

８　推進計画（予定）

月　日	内　　容	
	明徳中	明徳小
４月６日（月）	○運営委員会①（日程など）の詳細決定	
４月１５日（水）	**○全体研修会①**　方向性や取組等の共通理解 ○研究部会①（各部会）取組の共通理解・年間計画，研究テーマの確認	
５月～６月	・校内研修	・校内研修
６月３日（水）	**○全体研修会②　授業研究を実施（小学校）** 大学教授を招聘しての全体研修 ○運営委員会②　進捗状況確認，情報交換	
７月	・校内研修	・校内研修
７月２９日（水）	**○全体研修会③**　研究部会② ○運営委員会③　進捗状況確認，情報交換	
９月・１０月	・校内研修	・校内研修
１１月２日（月）	○明徳中学校区保小中合同避難訓練	
１１月２７日（金）	**○全体研修会④　授業研究を実施（中学校）**	
１２月	・校内研修	○校内研修
１月７日（木）	**○全体研修会⑤　進捗状況確認，情報交換** ○研究部会③　進捗状況確認，情報交換 ○運営委員会④　進捗状況確認，情報交換	
１月２９日（金）	○中学校オープンスクール	
２月８日（月）	○研究部会④　（各部会）取組のまとめ	
３月３日（水）	○運営委員会⑤　次年度に向けての計画作成	

※　上記の他，それぞれの校内授業研究での小・中学校教職員の相互参加を予定

９　その他
○　「小中一貫教育だより」の発行
　・　１学期　明徳小学校（幹事校），２学期　明徳中学校，３学期　明徳小学校
○　小中合同行事の実施
　・　明徳中学校区保小中合同避難訓練
　・　中学校オープンスクール

※　研究構想図，カリキュラムマップを添付する。